



6年生は修学旅行へ ～10月24・25日の長崎と佐賀への旅～

ずっと心配していた新型コロナウイルス感染症の状況も落ち着き、6年生は長崎、佐賀で2日間学習してきました。もちろん長崎では平和学習を中心に据え見学を行ったのですが、フィールドワークの中で、平和公園が近づくにつれ、子供たちは非常に神妙な面持ちになっていったそうです。最後の戦争が終わって何十年経過しても、その場所で感じられる命の声があり、子供たちもそれを受け取っていたのではないでしょうか。2日間とても充実した学びができましたので、今後それをまとめています。どのようなまとめができるかどうぞお楽しみに。

ガイドさんから熱心に説明を聞く子供たち



前途洋々

今年の「子どもガイド養成講座」が終了しました

10月22日（金）の5、6時間目、3・4年生は子どもガイド養成講座の最終回及び閉講式を迎えました。最終回は、例年現地見学を行っており、今年も、井口眼鏡橋、鼻ぐり、馬場楠井手取入口を巡りました。教室で事前に様々な学習はしていたものの、実際に説明を聞きながら文化財を見ることで、また新たな思いが生まれ、故郷の良さを感じてくれたのではないかと思います。皆真剣にお話を聞いたりメモを取ったりしていました。ガイドとしての活動は現在のところ未定のため「まずは、おうちの人と学習したことを話しましょう」と言ってあります。ぜひ話題にされてください。



上川教育長から受講証を受け取る児童。
たくさん的人に学んだことを伝えてほしいです。



眼鏡橋の説明を聞く子供たち。いつもの風景が変わる瞬間ではないでしょうか。

教科担任制の授業の様子をのぞいてみました～3・4年の授業から～

後期の始めにお知らせしたとおり、本校でも教科担任制を開始しました。3・4年では、3年担任が4年の図工、4年担任が3年の音楽を担当します。27日（水）に、それぞれの授業をのぞいてみました。3年音楽では、昨年度担任の坂本先生の授業ということもあり、子供たちはリラックスして授業を受けている様子。また、4年図工の授業でも、初めて教えてもらう山田先生とのやり取りで盛り上がっている様子が見られました。普段と違う雰囲気で授業が展開されるということもあり、子供たちにとっては、緊張感をもって、また、気分を切り替えながら学習に取り組むことができる機会となりそうです。

